



また、情操を育むためには、自然とのふれあいは極めて重要と考えていますので、ふおれすと鉱山などを利用した自然体験活動を促していきます。

●**体力向上**

全国調査の結果、小学校では実施項目の多くが全道や全国の平均値を上回るなど、これまでの一校一実践の取り組みや体育コーディネーター派遣による成果が見られていますので、引き続きこれらの事業の充実に努めていきます。



▲児童の運動能力の向上を目的とした『子ども健康・体力改善事業』

●**健康教育**

食育の推進に努め、児童生徒の望ましい食習慣を確立するとともに、学校医や関係機関などと連携を図り、薬物乱用防止や疾病の予防など、健

康を考える学習機会の充実を促していきます。

●**特色ある教育**

当市の特性を生かしたスキー授業や温泉入浴体験、環境学習などの事業を、引き続き推進していきます。



▲登別温泉のホテルの仕事学ぶ若草小学校の児童

また、英語（国際理解）教育については、登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、国際観光都市としての環境を活用し、外国人観光客に英語で案内をするなど、国際感覚を養う活動の推進を図っていきます。

●**校種間の連携**

引き続き、幼保・小・中連携協議会を中心に、子ども同士の交流や、教職員が教育内容や指導方法について相互理解を深められるような連携に努めていきます。

また、中一ギャップや学力向上に対応するために、系統的、継続的な

学習指導や生活指導を通して、中一貫した教育の推進に取り組んでいきます。

●**安全対策**

防災に関しては、児童生徒が災害時に適切な行動をとることができる指導の徹底と、火災や地震、津波などに対応した避難訓練の充実を促していきます。

通学路の安全に関しては、登別市通学路交通安全推進プログラムに基づき、通学路の危険箇所の合同点検や道路管理者による改善など、適切な対応に努めていきます。

学校施設については、鷺別小学校建替工事や青葉小学校耐震化改修工事を継続するとともに、登別中学校の耐震改修実施設計に取り組んでいきます。



▲耐震化を進めている青葉小学校の校舎

食におけるアレルギー対応や、学校での教育活動における事故対応については、北海道教育委員会から発出される通知や手引きなどに基づいた対応がなされるよう指導していきます。

また、情報教育や消費者教育の推進を奨励し、適切に対処できる知識の習得と犯罪やトラブルの未然防止に努めていきます。



▲児童生徒、保護者に配付した『ケータイ・スマホ3つのルール』

●**いじめや不登校への対応**

生徒指導担当者会議や登別市不登校・いじめ等対策会議において、情報交流や研修内容の充実に努めるとともに、登別市や各学校が策定している『いじめ防止基本方針』に基づいて、適切に対応していきます。

●**特別支援教育**

一人一人の教育的ニーズに応じた『個別的教育支援計画』に基づき、登別市特別支援教育振興協議会と連携し、幼少期から一貫した支援が図られるよう努めていきます。